

平成29年度のふるさと寄附者に 進呈する特産品を募集します!



出雲の特産品のPRにつながる、この事業へのご提案をお待ちしています。全国へ出雲の自慢の特産品をPRし、いっしょに「出雲」を発信していきましょう!ご協力をよろしくお願いします!

●応募資格

市内に本店または、営業所等を有する事業者。市税等の滞納がないことなど。

●募集する特産品の要件

- ①出雲市の魅力を十分にPR・体感できる特産品であること。
- ②商品金額(特産品の定価、送料および消費税等を含めた総額)など詳しくは市のホームページで公開する募集要項に掲載します。
- ③年間を通じて安定的に供給できる特産品であること。ただし、期間限定品(1か月以上)、数量限定品(50個以上)も可とします。
- ④寄附者への特産品の発送は、市からの依頼に基づき、事業者において行っていただきます。

●応募方法

- ①応募期間:1月20日(金)まで
(持参の場合は、平日の8時30分~17時15分。ただし、12月29日~1月3日を除く。)
- ②提出書類:「平成29年度ふるさと寄附に係る特産品提案申込書」および添付書類

詳しくは、市ホームページをご覧ください。出雲ブランド室までおたずねください。

縁結び定住課 出雲ブランド室 ☎21-6274

樹木のドクター

Vol.19



樹医からの アドバイス

早春を彩る花木「ロウバイ」を育てよう

ロウバイはまるでロウ細工のような黄色い花を咲かせる、中国原産の落葉低木です。日本の気候によく合った樹木で、冬の寒さや夏の暑さに負けず、早春に香り高い花を咲かせます。

ロウバイは、江戸時代初期に日本へ渡来し、生け花や茶花、庭木として利用されてきました。他の花木に先駆けて、12月~1月ごろ、香りのよい花を咲かせます。

どしどしを施します。花が付いていない若木には、9月上旬に追肥として通常の半量を施します。

【せん定】

花が終わったのち、長く伸びた枝や間延びした枝を20cmほど残してせん定します。また、内側に向かって伸びる枝は、樹形を乱し、日光を遮るので切りましょう。

【ロウバイの育て方】

ロウバイは日光を好むので、庭植え

する際は、半日陰から日なたに植えつけましょう。また、過湿に弱く、根腐れを起こしやすいので、水はけのよい場所が適しています。冬に開花するため、寒風の当たらない場所を選ぶのがよいでしょう。

肥料は、成長期の4月~5月と、寒肥として12月に、緩効性化成肥料(チッソ・リン酸・カリウム=10:10:10)や有機質肥料(固形の油かすな



寒風に 香を放つや ロウバイは
あと振り向けば 黄金に光り

(出雲市樹医 高橋 義則)

おたずね/出雲市樹医センター ☎22-6497

出雲弥生の森博物館情報

企画展

出雲を掘る 第6話

しつちのさと

-出雲郡漆治郷の今昔-

開催中～

1月23日(月)

ギャラリートーク

1月14日(土)

10:00～



弥生土器

関連講座 1月22日(日) 14:00～16:00

「掘った出た、それで？」 —発掘調査と地域の歴史—

◆講師：花谷 浩(当館学芸員) ◆要申込み

館長講座

「考古学と戦争」

1月14日(土) 14:00～16:00

◆講師：渡邊貞幸(当館館長)

◆受講料：300円

※事前に電話・FAX・博物館ホームページでお申込みください。



速報展

「ふるさとの記録を守る —古文書を未来へ伝えるために—

1月25日(水)

～4月10日(月)

私たちの身近なところにあるふるさとの記録、“古文書”を伝えていく方法を探ります。



出雲弥生の森博物館

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)
入館料・常設展観覧料 無料

〒693-0011 大津町2760

☎25-1841 FAX 21-6617

<http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori>

yayoi@city.izumo.shimane.jp



よすみちゃん

荒神谷博物館情報

企画展

出雲平野の遺跡シリーズII 青木遺跡-弥生から続く祈り-



▲銅鐸飾り耳

開催中～2月27日(月)

最古級の四隅突出型墳丘墓「青木遺跡」。銅鐸飾り耳の破片や神社関連建物跡、墨書土器、木簡なども発見され、古代からの特別な祈りの場であった“青木遺跡の神髄”に迫ります。



▲荒神谷6号鐸

荒神谷遺跡出土 6号銅鐸の刻みとは

今年10月、南あわじ市教育委員会と奈良文化財研究所は、南あわじ市で発見された松帆5号銅鐸と荒神谷6号銅鐸が同じ鑄型で造られた兄弟銅鐸であることを発表しました。当館では、荒神谷遺跡出土の6個の銅鐸のうち、この6号鐸だけに「刻み」があることに注目しています。現在、博物館内で、レプリカを展示し、書籍・資料などを閲覧することができます。

ミュージアムショップ通信

『はにわグッズシリーズ』

人気商品! はにわの形のキーホルダーやマグネットです。



定例講演会 第137回

1月21日(土) 13:30～15:00

演題：『出雲市青木遺跡を考える
—中世編—』

講師：広江 耕史氏
(島根県古代文化センター)

資料代：300円 申込不要

ゼミ形式「風土記談義」

～豊後国風土記～

1月15日(日) 10:00～12:00

講師：平野 芳英・杉岡 直子
受講料：300円 申込不要

最新情報はホームページ内のブログやFacebookをご覧ください♪

荒神谷博物館

Archaeological Museum of Kojindani

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで) 休館日 展示室のみ毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)

〒699-0503 斐川町神庭873-8

☎72-9044 FAX 72-7695

<http://www.kojindani.jp>

